

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、
当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成 26 年 11 月 20 日

気象庁総務部長 鈴木 昭久

調達機関番号 020 所在地番号 13

○第 1 号

1 調達内容

(1) 品目分類番号 14

(2) 導入計画物品及び数量

スーパーコンピュータシステム 一式

(3) 調達方式 借入等

(4) 導入目的

本システムは、気象、水象、地象等に関するデータ解析及びこれらの予測等を行い、これらを総合的に処理するシステムの一部として導入するものである。

(5) 導入予定時期

平成 29 年度第 4 ・ 四半期以降（先行利用スト

レンジ 平成 28 年度第 4 ・ 四半期以降)

(6) 調達に必要なとされる基本的な要求要件

スーパーコンピュータは主・副 2 系で構成され、実効演算性能は、現行の 6 倍以上を有すること。実効演算性能は気象庁が指定するプログラムを用いて行う性能評価試験(ベンチマーク・テスト)により評価されるものとする。なお、現行のスーパーコンピュータは、日立製作所製 SR16000 モデル M1 (432 論理ノード)が 2 台(主・副系)で構成される。

スーパーコンピュータの主記憶容量は、気象庁の業務用プログラムが高速、柔軟に実施できるよう十分な量を有すること。

スーパーコンピュータの二次記憶装置として、各系内でファイル共有ができ、高速な入出力が可能なストレージを有すること。

衛星データ処理及び各種業務処理を実行するサーバを有すること。

スーパーコンピュータを含む本システム

全体でファイル共有ができる大容量のストレージを有すること。

OpenMP 及び自動最適化(SMP 並列化等)に対応した Fortran コンパイラ及び C、C++ コンパイラ、数値計算ライブラリ、MPI ライブラリ、開発環境として利便性の高いデバッグツール及びチューニングツールを有すること。

ソフトウェア及びハードウェアの両面にわたり高い信頼性・可用性を有し、保守及び整備に関して俊敏な措置を講ずること。

気象庁が作成した既存プログラム及び保有データの移行が容易で、効率的に実施できること。

本システムの運用・管理は可能な限り省力化及び自動化を図り、また、本システム全体で一元的な利用者管理、資源管理及び課金管理ができること。

本システムを構成する機器は省エネルギー

一性に優れていること。

2 資料及びコメントの提供方法 上記1(2)の物品に関する一般的な参考資料及び同(6)の要求要件等に関する資料(カタログを含む)及びコメントの提供を招請する。

(1) 資料等の提供期限 平成27年1月15日17時00分(郵送の場合は必着のこと。)

(2) 提出先 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁予報部情報通信プログラム班 長谷川昌樹 電話 03-3212-8341 内線 3191

3 説明書の交付 本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

(1) 交付期間 平成26年11月20日から平成27年1月15日まで。

(2) 交付場所 上記2(2)に同じ。

4 説明会の開催 本公表に基づく導入説明会を開催する。

(1) 開催日時 平成26年12月1日14時00分

(2) 開催場所 気象庁講堂（気象庁 2 階）

5 その他 この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

6 Summary

(1) Classification of the products to be procured: 14

(2) Nature and quantity of the products to be procured: Supercomputer System 1 Set

(3) Type of the procurement: Rent

(4) Basic requirements of the procurement:

The System shall consist of two sets of supercomputers. The total effective performance of supercomputers in the System shall be 6 times faster than that of the current supercomputers (HITACHI SR16000 Model M1 with 432 logical nodes for each set) in the Japan Meteorological Agency (JMA). The effective performance of the

supercomputers shall be evaluated by JMA's benchmark tests.

Total capacity of main memories of the supercomputers shall be sufficient enough to execute JMA's operational programs speedily and flexibly.

Each set of supercomputer shall be equipped with shared secondary storages with fast I/O performance.

The System shall be equipped with servers for the satellite data processing and for the other routine.

The System shall be equipped with the mass storages shared in the System including the supercomputers.

Fortran, C and C++ compilers supporting OpenMP and automatic optimizing (including SMP-ing), numerical calculation and MPI libraries, and, useful debugging and tuning

tools for the platforms on software development shall be available in the System.

Both software and hardware of the System shall have high reliability and availability. Maintenance and repairing works shall be provided promptly.

JMA's application programs and archived data shall be able to migrate from the current system to the System easily and efficiently.

Operation and administration of the System shall be carried out laborsavingly and/or automatically. The system management on users, resources and accounting information shall be carried out in an integrated manner.

The System shall have low energy consumption.

(5) Time limit for the submission of the requested material: 5:00 PM 15 January 2015.

(6) Contact point for the notice: HASEGAWA Masaki, Group Leader, Information and Communications Technology Division, Forecast Department, Japan Meteorological Agency 1 - 3 - 4 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100 - 8122 Japan. TEL 03 - 3212 - 8341 Ext. 3191